



ふだんの活動に プラスON 交通安全・防犯協働事業



2022年度 実施報告書

2023年1月
編集 町田市地域活動サポートオフィス

ふだんの活動にプラスON 交通安全・防犯協働事業 実施報告

「ふだんの活動にプラスON交通安全・防犯協働事業」は、地域で活動するみなさまが、ふだんの活動に交通安全や防犯をプラスONした企画を実施する事業です。実施にあたっては、町田市市民生活安全課からの委託を受け、町田市地域活動サポートオフィスが支援を行いました。

◆事業実施数 17件

◆事業実施期間

2022年9/21～30「秋の全国交通安全運動」、10/11～20「全国地域安全運動」の期間中及びその前後、12/1～7「TOKYO交通安全キャンペーン」の期間中及びその前後

◆事業の目的

- ・「交通安全」や「防犯」に関する知識や情報を広く市民に伝える。
- ・地域の様々な団体が、ふだんの活動に交通安全・防犯をプラスONして企画を実施することで、無理なく幅広く市民の交通安全・防犯意識が向上することを目指す。
- ・団体は本事業に参加することで、活動に新たなプログラムの導入、広報の実施、普段使わない会場の利用など、活動活性化のきっかけとする。

◆スケジュール

- ・5月26日(木) 「ふだんの活動にプラスON交通安全・防犯協働事業」事業説明会
- ・9月～12月 事業実施 ※一部事業が天候等により延期となり1月～3月に実施
- ・1月28日(土) 実施報告会開催

2022年度 参加団体一覧

番号	開催日	団体名	交通安全/防犯	実施事業題目
①	9/2（金）	視覚障害者協会	交通安全	「ミニ福祉機器展」×交通安全 視覚障害者向け反射材チラシ制作
②	9/17（土）	まちだポールウォーキング クラブ	交通安全	反射シールで安全ウォーキング・交通 安全講話
③	9/28（水）	ベニーズイングリッシュ クラブ	交通安全	親子一緒♪英語で♪初めての交通安全
④	9/30（金）	まちだハッピーマルシェ 実行委員会	防犯	防犯講話@ウエルカフェ町田本町田店
⑤	10/21（金）	子育て広場ぶらんこ町田	防犯	乳幼児親子向け防犯イベント「ぶらん この今から知っておきたい乳幼児の防 犯」
⑥	10/22（土）	町田市立町田第一小学校 お父さんネットワーク	交通安全・防犯	「学校へ泊まろう2022」交通安全クイ ズ・防犯パトロール
⑦	10/23（日）	base～みんなの居場所 ～	防犯	みんなで作ろう防犯ホイッスル
⑧	10/28（金）	みなさんの居場所ぼくは ぼく×多文化クラブ DANRO	交通安全	～あそんでまなぼう交通安全～外国籍 親子にも反射材をしてもらおう
⑨	10/30（日）	町五小ご近所1年生会	交通安全	ご近所同級生のお家をハロウィンウォ ーク
⑩	11/5（土）	らぶふあみ事務局	交通安全	まちだイイモノ〇ごと祭り2022「ピカ っとあんぜんタッセル」ワークショップ ・交通安全講話
⑪	11/7（月）	図師町内会寿会	防犯	筋トレ×特殊詐欺防犯講話
⑫	11/7（月）	ペスカドーラ町田	交通安全	ペスカドーラ町田遊びの広場×交通安 全クイズ・反射材ワークショップ
⑬	11/19（土）	鹿島自治会焼き芋会	交通安全	オリジナル啓発チラシ(子ども・大人)制作、 反射材配布
⑭	11/27（日）	慶應義塾大学町田三田会	防犯	「映画ホームカミング上映会」×防犯講話
⑮	12/2（金）	町田市地域活動サポート オフィス	防犯	地域安全マップの作り方講座
⑯	12/3（土）	鎌倉古道・歴史遺産の会	交通安全	まちカフェ！ウォーク交通安全講話・オリ ジナル啓発ベスト
⑰	1/30（月）・ 2/2（木）・3/8 （水）	神奈川東部ヤクルト販売 株式会社	交通安全	ヤクルト販売員オリジナル標語啓発ス テッカー製作、オンライン交通安全講 座、二輪自動車教習

① 交通安全 ミニ福祉機器展×交通安全 視覚障害者向け反射材チラシ制作

団体名：視覚障害者協会	プラスON 音声読み上げチラシ制作・ポール型反射材配布
開催日：2022/9/2(金)	参加者：合計137名（来場者70人+ガイドヘルパー40、出展7、関係者14）

実施概要・所感：

町田市視覚障害者協会主催「見えにくい・見えない人のための生活・ミニ福祉機器展」において、「交通事故から身を守るために反射材を身につけ明るい目立つ服装を」という説明チラシを反射材とともに受付にて配布。説明チラシには音声読み上げコード「Uni-Voice」をつけた。視覚障害者にとっても、交通事故は関心事であり、反射材は好評であった。

参加者の声：

- ・ポール型の反射材はゴム紐になっており、白杖等につけやすかった。
- ・会場の入り口で配布され、すぐその場でつけてみた。
- ・音声読み上げできるチラシで、初めて反射材についての効果を知ることができた。

サポートオフィスより：

町田市で初開催となる視覚障がい者向けの展示会でした。チラシは視覚障害のある方にも読んでいただけるよう「Uni-Voice」というアプリを使用すると音声読み上げができるコードがついています。制作いただいたチラシは今後も活用させていただきます。



③ 交通安全 親子一緒♪英語で♪初めての交通安全

団体名：ベニーズイングリッシュクラブ	プラスON 交通安全をテーマにしたプロ 取り組み：グラム設計、反射材作成
開催日：2022/9/28(水)	参加者：9名（未就学児4名・母親4名・父親1名）

実施概要・所感：

①英語絵本読み聞かせ→「乗り物」が登場する絵本を通じて、親子に「交通安全」をより身近に感じて頂いた。②パネルシアター・ミニリトミック→信号機のルール（青＝go!スメ！、黄＝wait!マテ！、赤＝stop!トマレ！）をピアノの音と共に「視覚・聴覚」両面から小さなお子さんにも分かりやすく感じてもらった。③反射材クラフト→「自分だけのリフレクター♪」という親しみが増し、反射材の大切さを伝えることが出来ました。

参加者の声：

- ・無料とは思えない内容で大満足でした！
- ・お手製の信号機がかわいかったです。
- ・リフレクターのシール貼りを子どもが楽しんでいました。

サポートオフィスより：

普段の活動「親子ふれあいイングリッシュタイム」に交通安全の要素をプラスONしていただき、かわいいプログラムができました。手作りの信号機や乗り物のパネルシアターなど工夫があり、楽しく交通安全に触れていただく機会になりました。



② 交通安全 反射シールで安全ウォーキング・交通安全講話

団体名：まちだポールウォーキングクラブ	プラスON 反射材シール配布、交通安全 取り組み：講話
開催日：2022/9/17(土)	参加者：合計12名

実施概要・所感：

公園のみならず公道を移動する機会の多いポールウォーキングクラブは、場所によっては歩車道の区別のない道路を集団で歩いたり、大きな交差点をわたる機会が多い。普段も先頭の者や最後尾の者が声を掛け合っている。今回の取組では、警察署の交通課員の安全講話、特に交差点横断中の死亡事故の説明は横断歩道を模したシートを使っての説明で現実味が感じられ、参加者に強く印象が残った。また数種類の反射資材を披露していただき今後クラブ員全員で揃えていくことにした。更にその場でポールと履物に反射シールを張るなど楽しく安全対策を行うことが出来た。

参加者の声：

- ・実際に町田市で起きた死亡事故の例から、横断歩道のわたり方をあらためて考え、気をつけようと思いました。

サポートオフィスより：

参加者のみなさんが、反射材シールをその場で靴等に張り付けていたのが印象的でした。同世代の事故事例を真剣に聞いていらっしゃる姿も印象に残っています。



④ 防犯 防犯講話@ウエルカフェ町田本町田店

団体名：まちだハッピーマルシェ実行委員会	プラスON 地域のマルシェで来場者向けに 取り組み：警察から特殊詐欺の講話を実施
開催日：2022/9/30(金)	参加者：近隣地区13名

実施概要・所感：

警察署職員より20分程度の講話をしていただいた。最近増えている電子マネーに関する情報もあり、参加者にとっては新鮮だった。参加者がメモをとりながら熱心に聞いていて、周りにも伝えたいのでチラシが欲しいという声も多かった。反射材はミニ講話参加の方が、お孫さんに渡したいとお持ち帰りになった。特殊詐欺の話はよく耳にするが、警察の方のお話しは情報がアップデートされているので定期的に聞く機会があると良い。

参加者の声：

- ・「電話に出ない、留守電にする」などすぐ取り組みます。
- ・詐欺の手段が悪質化していることがわかった。チラシ配布などで周囲の方に注意していきたい。

サポートオフィスより：

毎月第4金曜日に開催している「ハッピーマルシェ」。会場のウエルシア薬局町田本町田店では店内一角を「ウエルカフェ」として地域に貸し出ししています。近隣地域の方や、民生委員、高齢者支援センター職員も参加され、ご自身だけでなく注意喚起を広める動きへの波及効果も感じました。



⑤ 防犯

乳幼児親子向け防犯イベント「ぶらんこの今から知っておきたい乳幼児の防犯」

団体名：子育て広場 ぶらんこ町田	プラスON スタッフ向け防犯講習、利用 取り組み：者との防犯知識共有・紙芝居
開催日：2022/10/21(金)	参加者：親子3組（母3、子4名）・スタッフ 2名・議員（見学）1名

実施概要・所感：

スタッフ研修で市民生活安全課職員に聞いた話をもとに作成した資料を見てもらいながら話をした。途中で体験談や実感した話、感想などを聞きながらすすめた。「いかのおすし」の紙芝居も実施し、ホイッスル付きLEDライト付キーホルダーと動物反射板をプレゼント。今回の企画は、ふだんは扱わないテーマだったので、本事業がなければ実施しなかったかもしれない。安心して子育てをしていくためにも、みんなで共有し気をつけていくことが必要なテーマだと感じた。年に1～2回は実施したいと意見があり、今後検討していきたい。

参加者の声：

- ・当たり前の話かもしれないが改めて話を聞いて考える機会になった
- ・上の子が小学生なので、1人で行動することが増えている。注意することを親も子も意識できるよう話をしていきたい。

サポートオフィスより：

乳幼児の時期から防犯について考える機会を持つことで身の回りの危険について目を向けるきっかけづくりになると思います。ぶらんこ町田の「地域みんなで子育て」の想いを広げるためにも、様々な方々を交えて、防犯を考える取り組みを続けていただけたらと思います。



⑦ 防犯

みんなでつくろう防犯ホイッスル

団体名：base～みんなの居場所～	プラスON 防犯ホイッスルをオリジナル 取り組み：デコレーション、子ども向け 防犯知識の紹介
開催日：2022/10/23(日)	参加者：18名（大人8名・こども10名※2歳 から小学4年生まで）

実施概要・所感：

①アウトドア防災ガイドあんどうりすさん考案のキラキラデコホイッスルのワークショップ、②『あぶないことからじぶんをまもるこどものあんぜんどうほん』（国崎信江氏監修 太陽出版）の紹介、③手を掴まれてしまった時、背後から抱きつかれた時の対処法をレクチャー、④ホイッスルの活用方法とあんどうりすさんの著書の紹介、⑤ハロウィンのお土産の配布（ラムネ菓子）を実施。運営側のそれぞれの得意を活かす形で実施できたので、今後もこのような形で不定期であっても何か開催できればと思う。

参加者の声：

- ・子どもが楽しそうに制作をし、お気に入りのホイッスルが出来上がるとすぐに首から下げていました。
- ・勉強になった。

サポートオフィスより：

オリジナルホイッスルは、デコレーションも凝っていて手作りいっぱい楽しい企画でした。後半のお話タイムは大人も子供も真剣に考えるきっかけとなり、全体のバランスがとても良かったです！



⑥ 交通安全 ・防犯

「学校へ泊まろう2022」交通安全クイズ・防犯パトロール

団体名：町田市立町田第一小学校お父さんネットワーク	プラスON 反射材シール配布、交通安全 取り組み：講話
開催日：2022/10/22(土)	参加者：100名

実施概要・所感：

「学校へ泊まろう2022」のプログラムの一環として、「交通安全クイズ」「防犯パトロール」「いかのおすしを活用した訓練」「警察からの講話」が実施されました。交通安全4択クイズでは、クイズの答え合わせの後に答えに関係する具体的なデータを確認し、より内容を正確に、身近にとらえることができる内容となりました。防犯パトロールでは、日ごろから地域の見守りをしている中野中央町内会の方々、警察、市職員も参加し2チーム・4つのグループに分かれて学校周辺を見回りました。

参加者の声：

- ・体育館の中を動きながらのクイズで楽しかった。
- ・クイズの選択肢にユーモアのあるものもたくさんあり面白かった。

サポートオフィスより：

今回の取り組みは、学校・地域・警察・行政が一体となって実施しました。より一層地域でのつながりが強化され、防犯・交通安全への意識が高まる機会になればと考えます。



⑧ 交通安全

～あそんでまなぼう交通安全～外国籍親子にも反射材を知ってもらおう

みなさんの居場所ぼくはぼく×多文化クラブ 団体名：DANRO	プラスON 交通安全ミニ知識講座、反射材ワ ークショップ、STOP交通安全英語 取り組み：版チラシ制作（ダウンロード可）
開催日：2022/10/28(金)	参加者：親子4組9名、スタッフ4名

実施概要・所感：

毎月最後の金曜日のお楽しみ＜Friday night meeting＞で、「交通安全」のお話を聞いた。反射板を身に付けることが夜道を歩くときにとても大切だということを考えることができた。交通安全についての資料の英語版をDANROスタッフが制作し外国人親子にも配布した。着せ替えて遊べる反射板のキッドは子ども達が楽しみながらオリジナル反射板を作れるもので、みんな喜んで作っていた。新しい出会いがあり、嬉しい時間だった。

参加者の声：

男の子の方が女の子のより高い事故率という話に、みんなで納得しました。自転車は車道を走るのが基本のルールだということに、普段の乗り方を振り返ってみたり、大人もヘルメットを着用することが求められてくることを知ってびっくりしました。

サポートオフィスより：

ぼくはぼくさんの温かい雰囲気とDANROのみなさんの明るさで、とても楽しい時間でした。双方向でコミュニケーションをしながらワークショップや交通安全についての話ができました。制作していただいた英語版のチラシは今後も活用させていただきます。



⑨交通安全

ご近所同級生のお家をハロウィンウォーク

⑩交通安全

まちだイイモノ〇ごと祭り2022「ピカッとあんぜんタッセル」ワークショップ・交通安全講話

団体名：町五小 ご近所1年生会	プラスON 反射材配布 取り組み：
開催日：2022/10/30(日)	参加者：合計12名（子ども8名、保護者4名）

実施概要・所感：

ハロウィンの仮装をし、近所に住む学年の近い子どもたちで各家庭を訪問しながら、車が多く通る道などの危険個所の確認、家の場所や各家族の顔を確認。ウォークを始める前に子どもたちに交通安全についてのお話を実施。ウォーク終了後には、各自作ってもらようオリジナル反射材キットを配布した。

参加者の声：

靴やカバンに貼るタイプのリフレクターがあることを伝えたところ、さっそく探してみる！という声があった。

サポートオフィスより：

子どもへ交通安全について話をしてもなかなか伝わらないこともある中、今回のように友達とみんなで一緒に聞く機会を持てると親子で交通安全に話し合うきっかけになると思いました。



団体名：らぶふあみ事務局	プラスON 反射材シール配布、交通安全 取り組み：講話
開催日：2022/11/5(土)	参加者：ワークショップ100名、講話50名

実施概要・所感：

「まちだイイモノ〇ごと祭り2022」で大人でも付けやすい反射材のワークショップを開催。反射材入りの紐を使いタッセルにすることで、大人でも通勤やお出かけの際の鞆に付けやすい反射材になった。ワークショップに参加の保護者には『ママもパパも交通安全に気をつけよう』をテーマに暗い時間帯の服装・ながら歩き・歩きスマホなど、自分は大丈夫と思わず気をつけていきましょうというチラシを作成し配布。イベント内では警察による講話も実施した。冊子「らぶふあみ」にもイベントの報告とあわせて『ママもパパも交通安全に気をつけよう』の啓発内容を掲載した。

参加者の声：

- ・いつも黒い服を着ているので光るものを身につけようと思いました。
- ・大人の事故も多いとの事で気をつけたいです。

サポートオフィスより：

大人でもつけたくるような素敵な反射材を使った素敵なタッセルでした。また、『らぶふあみ』誌面にも啓発記事を掲載していたので多くの方に波及効果が期待できる内容でした。



⑪交通安全

筋トレ×特殊詐欺防犯講話

⑫防犯

ペスカドーラ町田遊びの広場×交通安全クイズ・反射材ワークショップ

団体名：図師町内会寿会	プラスON 防犯講話「振り込め詐欺対策」 取り組み：
開催日：2022/11/7(月)	参加者：16名

実施概要・所感：

毎週月曜日に専門コーチのもとに健康維持のための筋力トレーニングに集まっている地域の方々に向けて、町田警察署の方からわかりやすく振り込め詐欺に対する対応方法が話された。後半は、参加者から詐欺で電話を受けたときの経験談が話され、身近に遭遇している人が少数ではないことがわかり、他の参加者も他人ごとではないという緊張感を感じる機会となった。

参加者の声：

- ・電話での振り込め詐欺の話具体的な流れにそって話していただけて、大変参考になりました。
- ・会場の参加者の中から詐欺電話の経験者の話を引き出していただき、近くにいる人に現に降りかかっていることがわかり、恐ろしさを感じました。

サポートオフィスより：

地域で普段から行っている活動の中で啓発を実施していただくことで参加者同士の経験共有にもなり身近に感じていただけたと思います。引き続き町内会中心に安全安心な地域づくりをすすめていただければと思います。



団体名：ペスカドーラ町田	プラスON 交通安全クイズと反射材ワークショップ
開催日：2022/11/7(月)	参加者：15名

実施概要・所感：

シバヒロにて毎月第1月曜日に開催される「ペスカドーラ町田遊びの広場」で交通安全クイズと反射材ワークショップを開催。クイズは、主に自転車に関する標識クイズを実施した。クイズの後は、反射材に顔のシールを貼るワークショップを実施し、反射材の効果もお伝えした。

参加者の声：

- ・学校の自転車教室で教えてもらったので正解できました。
- ・自転車は車道が基本ということを知りました。気を付けたいです。

サポートオフィスより：

毎月の「遊びの広場」で継続して楽しく「交通安全」について啓発していただけると幸いです。また、コーチや選手からもお話いただけると子どもたちに関心を持ってもらえるのではと思います。



団体名：鹿島自治会焼き芋会	プラスON 取り組み：反射材・啓発チラシ配布
開催日：2022/11/19(土)	参加者：100名

実施概要・所感：

3年ぶりに開催した鹿島自治会焼き芋大会で焼き芋が焼き上がるまでの待ち時間に「反射材」とオリジナルの「啓発チラシ」を配布。コロナがまだ落ち着かない状態もあったので、その場で作成しても持ち帰ってもいい形で実施。反射材と一緒に独自に製作したチラシも配布した。

参加者の声：

- ・帰宅後子どもが楽しんで反射材シールを貼っていた。
- ・反射材の配布があったことでイベントが充実した。

サポートオフィスより：

3年ぶりの開催となった焼き芋大会。晴天の日曜日の暖かい日差しの中で地域のつながりづくりのきっかけとなっていました。引き続き、地域で交通安全や防犯の意識を広げていただけることを期待しています。



団体名：慶應義塾大学町田三田会	プラスON 取り組み：防犯講話、LED付防犯ホイッスル配布
開催日：2022/11/27(日)	参加者：90名

実施概要・所感：

慶應義塾大学町田三田会主催「映画ホームカミング上映会」にて開演前に「プラスON事業」を実施。はじめに、町田市役所市民生活安全課より、町田市内の防犯の現状についてのお話いただいた。また、地域で今すぐできる防犯活動「ながら防犯」について、資料や具体的な事例を交えながら説明いただいた。その後、町田警察署生活安全課防犯係より、特殊詐欺についての講話があった。来場者には、被害防止のためのパンフレットと併せて、今回のプラスON事業の参加記念品として、LED付き防犯ホイッスルを配布。

参加者の声：

- ・映画のテーマと重なる点が多く、参加者も真剣に耳を傾けていた。

サポートオフィスより：

地域防犯や地域活性化をテーマとした町田を舞台にした映画が講話の内容とも合致していて効果的だと感じました。振り込め詐欺被害の防止は普段からの注意喚起が大切です。同窓会のネットワークを活かしていただき引き続き啓発に取り組んでいただければと思います。



15防犯

地域安全マップの作り方講座

団体名：町田市地域活動サポートオフィス	プラスON 取り組み：講座実施
開催日：2022/12/2(金)	参加者：12名

実施概要・所感：

小宮信夫立正大学文学部社会学科教授による「地域安全マップの作り方講座」～いつもの景色の中の「安全」と「危険」が見える！～を開催。「地域安全マップ」とは、犯罪が起こりやすい場所を風景写真を使って解説した地図。オンライン講義で「景色解読力（危険予測能力）」について理解を深めた後、「Googleマップ」のストリートビュー機能を使用した「フィールドワークシミュレーション」を行った。

参加者の声：

- ・ホットスポットの考え方を理解できた。
- ・防犯への意識がついた。
- ・多くの人が本講座を受けた方が良く感じた。
- ・町内会の年末パトロールでホットスポットパトロールを取り入れてみたい。

サポートオフィスより：

地域での防犯活動に取り入れると効果的な内容です。今回は、実際のマップ作りはできませんでしたが、各地域での講義やワークショップ開催も可能とのこと地域での実施につなげていきたいと思いました。



16交通安全

まちカフェ！ウォーク交通安全講話・オリジナル啓発ベスト

団体名：鎌倉古道・歴史遺産の会	プラスON 取り組み：交通安全講話の実施、交通安全ベスト作成、反射材配布
開催日：2022/12/3(土)	参加者：40名

実施概要・所感：

まちカフェ！古道ウォークにて、出発前に交通安全講話を実施。はじめに町田市所市民生活安全課より、都内における歩行中の交通死亡事故の約6割は、歩行者の過失がみられるという事実も踏まえ「歩行者の交通安全」のポイントについてお話があった。また、プラスONの試みとして、交通安全標語を掲げたベスト作成。主催者が身に着けわかりやすく誘導した。また、参加者には記念品として、ポール型の反射材を配布した。

参加者の声：

- ・ポイントを絞った話が大変わかりやすかった。
- ・歩行者がいかなる場面でも優先ではないということが理解できた。

サポートオフィスより：

古道ウォークでは、歩道横断や生活道路を歩く場面もあり、講話の内容を実践する場面がありました。今後もウォークの際にベストを着用して啓発していただければと思います。



ヤクルト販売員オリジナル標語啓発ステッカー製作、オンライン警察講話、二輪自動車講習

団体名： 神奈川県ヤクルト販売株式会社	プラスON 取り組み： オリジナル標語啓発ステッカー製作、オンライン警察講話、二輪自動車講習実施
開催日： 2023/1/30(月)2/2(木) 3/8(水)	参加者： 合計757名

実施概要・所感：

ヤクルト販売員250名あまりの声から選出したオリジナルの標語を載せた啓発ステッカーを制作。併せてアンケートにて、日ごろの交通安全についての意識調査も実施。1月30日にオンラインによる警察講話、2月2日オリジナル標語啓発ステッカー出発式、3月8日二輪自動車講習を行った。

参加者の声：

事業者単体で可能な範囲を超えて広く活動情報の発信ができました。自分たち自身がマナーと技術の両方を磨けたことにより、まず「事故を起こさない」という意識が高まりました。それにより、これからは交通安全啓発活動を推進する側としてのモチベーションがもっと高まりました。

サポートオフィスより：

たくさんの販売員さんの声を集めていただきました。「自分（マイ）ルールが事故を呼ぶ」という標語は、多くの方にあてはまる内容です。販売員の方のネットワークで啓発を広げていただきたいと思います。



【実施報告まとめページURL】

各団体が実施した事業の報告をサポートオフィスホームページで紹介していますので、ぜひご覧ください(各事業の報告へリンクしています)。

https://machida-support.or.jp/report/performance/pluson_all/

